

3つのキーフレーズで考える 摂食嚥下障害への対応

日時 8月4日(日)14時～17時 会員医療機関・無料

会場 兵庫県保険医協会会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階)

講師 一般社団法人 TOUCH/TOUCH 口腔機能回復センター代表 舘村 卓 先生

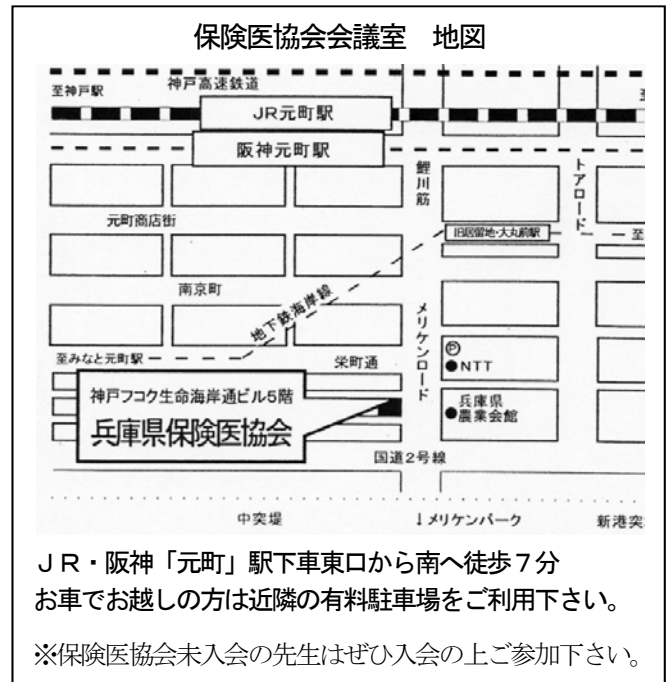
対象 歯科医師、歯科衛生士 ※外来のみの医院からもぜひおこしください。

定員 120人 (事前申込順)

救命医療の進歩は致命的状況からの救命率を向上させましたが、合併する障害が社会復帰を妨げているのが現状です。摂食嚥下障害は社会復帰を妨げる障害の一つですが、経口摂取が困難とされた場合、非経口的栄養法の選択がまだ一般的です。しかしながら、液体栄養剤の長期使用が腸管の廃用化によるサルコペニアを来し、フレイルをもたらすことが明らかとなってきました。そのため、経口摂取の重要性が認識されるようになりましたが、安全に経口摂取を支援することは難しいのが現状です。

摂食咀嚼嚥下障害に関する成書の多くが、「病院の外来」で「指示に従える」方への手技の紹介にとどまり、また代表的な学会の指針も生理学的な視点からは誤ったものも多く、現場は混乱しています。理論の裏付けのない方法による対応は、かえって窒息や誤嚥リスクを高める可能性もあります。

今回、経口摂取の支援に必要な概念を3つのキーフレーズにまとめ、7年間経口摂取されていなかった遷延性意識障害のご婦人への取り組みを通じて紹介します。【舘村記】



参加申込書

8月4日 歯科定例研究会に参加します。

(返信 FAX:078-393-1802 TEL078-393-1809)

地区 (市区町) 医院名 ()

電話 () FAX ()

参加者氏名 () 職種 ()

参加者氏名 () 職種 ()

参加者氏名 () 職種 ()

参加者氏名 () 職種 ()

参加者氏名 () 職種 ()